

2023年度 事業報告

事業の概要

1. 社会福祉事業

< 1 > NPO基盤強化資金助成（予算：17,500,000円）

「住民参加型福祉活動資金助成」は、6月から7月にかけて西日本地区を対象に募集しました。また、9月から10月にかけて「組織および事業活動の強化資金助成」は西日本地区を対象に、「認定NPO法人取得資金助成」は全国で募集しました。それぞれの応募数は、「住民参加型福祉活動資金助成」は22件、「組織および事業活動の強化資金助成」は70件、「認定NPO法人取得資金助成」は35件、合計127件でした。

「住民参加型福祉活動資金助成」は、2023年9月19日開催の選考委員会にて、8団体に合計184万円が選定され、2023年9月28日の理事会にて決定されました。

2023年12月4日開催の選考委員会にて、「組織および事業活動の強化資金助成」は14団体に合計858万円、そして「認定NPO法人取得資金助成」は10団体に合計300万円が選定され、2023年12月13日の理事会にて決定されました。

3つの助成を合わせて32団体に対し合計1,342万円の助成を実施しました。

なお、主に子ども（障害児等）を対象として活動を行っている10団体（団体名に★）への助成金には、SOMPPOグループの役職員の毎月の給与から集められる「SOMPPOちきゅう倶楽部社会貢献ファンド」からの寄付金50万円を活用させていただきました。

NPO 基盤強化資金助成
「住民参加型福祉活動資金助成」助成先一覧

所在地	団体名	助成する活動の名称(内容)	助成金額 (万円)
大阪府	人間研究所こころラボ (こどもお笑い道場・こどもお笑い食堂)	こどもお笑い道場における3つのコンテストのための助成	20
大阪府	Share de たかつき	ごちゃまぜマルシェ(備品購入、謝礼金など)	30
大阪府	南正雀まるっと。	地域をまるごと!まるっとマルシェ(会場拡大による備品購入など)	30
大阪府	ちびっと食堂@くらし	学習支援とおたがいさまのおせっかい(住民同士の助け合い活動)	26
大阪府	大人とこどもの寺子屋 ぱんげあ ひろ	現金を必要としないリソース(資源)交換カフェで、居場所づくり	16
兵庫県	学習室ピア	小中学生の無料学習室を兼ねた子どもの居場所	14
兵庫県	子どもの居場所つくろう会	子どもの居場所づくり(スタッフ費用、活動備品、広報印刷費など)	18
沖縄県	あかゆらぬ花会	子どもの安心生活地域づくり(チラシ広告費、交通費など)	30

「組織および事業活動の強化資金助成」助成先一覧

所在地	団体名	申請内容	助成金 (万円)
滋賀県	特定非営利活動法人 あめんど ★	若者たちでハーブティー商品をブランド化する就労支援	70
京都府	特定非営利活動法人 社会的就労支援センター京都フラワー	就労継続支援 A 型事業所にパソコンを導入しての法人基盤強化	45
大阪府	特定非営利活動法人 プール・ボランティア	国産のベッド型プール専用車いす(サンダーバード3号)の購入	70
大阪府	特定非営利活動法人 大阪精神医療人権センター	活動協力者の拡充・定着のための入門講座の開催とコンテンツの作成	70
大阪府	社会福祉法人 関西いのちの電話	会員管理システムの再構築	55
大阪府	特定非営利活動法人 フリースクールみなも ★	不登校の子どもたちを支える専門性と発信力を高める組織基盤強化	70
兵庫県	特定非営利活動法人 がじゅまる ★	ホームページのリニューアル	70
兵庫県	特定非営利活動法人 きょうどうのわ	東灘区居場所ネットワークの再生と活性化	70
奈良県	特定非営利活動法人 市民ひろばなら小草	引きこもりピアサポートセンター創設時の工業用ミシン購入	64
島根県	特定非営利活動法人 スサノオの風	高齢化が進む佐田暮らしサポート事業(備品購入など)	70

所在地	団体名	申請内容	助成金 (万円)
岡山県	特定非営利活動法人 ハートフル・あしん	新規事業開始のための事業所(居宅介護、共同生活援助)整備事業	70
佐賀県	特定非営利活動法人 空家・空地活用サポート SAGA	食支援のためのストックヤード強化事業 (改修工事、大型保冷库購入)	70
熊本県	NPO 法人 スローすてつぷ ★	障害児通所支援事業に関わるスタッフへのスーパービジョン・研修	18
沖縄県	特定非営利活動法人 タートルライフいしがき	オリジナル T シャツ制作販売事業(ゲームンプリンターの購入)	46

「認定 NPO 法人取得資金助成」助成先一覧

(助成金額は一律 30 万円)

所在地	団体名	団体の主な活動内容
秋田県	特定非営利活動法人 光希家 ★	不登校の子ども、ひきこもりの青少年に生き方と学習を支援
埼玉県	NPO 法人 みのり ★	視覚障害者、盲重複障害者が活動する就労支援施設の運営
東京都	特定非営利活動法人 女性ネット Saya-Saya ★	暴力被害により困難を抱えた女性と子どもたちの権利を擁護
東京都	特定非営利活動法人 渋谷なかよしぐるーぷ ★	障害のある人たちが安心して生活を続けるための支援
東京都	特定非営利活動法人 メタノミア ★	外国にルーツを持つ子どもたちの支援(日本語教室など)
東京都	特定非営利活動法人 ウィーログ	バリアフリーに関する情報発信、調査研究、研修教育
石川県	特定非営利活動法人 いしかわフードバンク・ネット	食品ロスと福祉の課題を包括的に改善するしくみを普及啓発
愛知県	特定非営利活動法人 LivEquality HUB	DV 被害などで住まいと生活に困難を抱える母子に居住支援
京都府	特定非営利活動法人 フードバンク京都	寄贈された食料を施設や要生活支援者を支援する団体に提供
福岡県	NPO 法人 福岡子どもホスピスプロジェクト ★	重い病気の子どもたちとその家族の苦痛を緩和する支援

< 2 > 自動車購入費助成（予算：15,000,000 円）

2023年度は、助成する福祉団体の募集対象を東日本地区として、6月から7月にかけて公募したところ、74件の応募があり、2023年9月19日開催の選考委員会にて、10団体に対し合計1,500万円が選定され、2023年9月28日の理事会にて決定されました。

「自動車購入費助成助成」助成先一覧

（単位：万円）

所在地	団体名	主な事業	助成金額
北海道	特定非営利活動法人 ソレソレ	放課後等デサービス・日中一時支援・学校登校含む送迎支援	150
岩手県	特定非営利活動法人 NOWBELBE	就労継続支援 B 型事業所・放課後等デイサービス	150
宮城県	特定非営利活動法人 麦の会	就労継続支援 B 型事業所「コッペ」の運営、パン・クッキー等の製造販売	150
秋田県	特定非営利活動法人 なないろサポートネット	障害児、難病、重度障害者への居宅介護・重度訪問介護・訪問介護での介護支援	150
埼玉県	特定非営利活動法人 はびねず	就労継続支援 B 型施設で(有機野菜栽培と販売、車椅子の点検、竹パウダー製造と販売)	150
埼玉県	特定非営利活動法人 地域で共に生きるナノ	地域活動支援センター(高次脳障害の方の居場所)・相談支援センター・移動支援	150
東京都	特定非営利活動法人 潮彩の会	障害者および高齢者に対し、社会参加と自立を支援(洗濯・清掃作業・食品の製造販売など)	148
富山県	特定非営利活動法人 まいど家	障害者に働く場所を提供し就労に必要な知識や能力向上のための支援、就労継続支援 B 型	150
静岡県	特定非営利活動法人 ワーキングライフ静岡	生活介護(袋詰め作業など)と就労継続支援 B 型(製品製作業など)の多機能型通所施設	150
愛知県	特定非営利活動法人 結絆	障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援する障害福祉サービス	150

< 3 > 海外助成（予算：4,000,000 円）

海外における社会福祉の向上を目的に「海外助成」を実施しました。

2023年度は、募集対象国をASEAN加盟国、インドおよび南アフリカとし、募集対象国に本部または活動の主要な拠点事業所を置き、社会福祉分野で活動する非営利団体を対象に9月から10月にかけて公募したところ、募集対象国に在住する日本企業の現地駐在員の推薦による5件の応募がありました。

2023年12月4日開催の選考委員会にて、以下の5団体に対し合計約404万円が選定され、2023年12月13日の理事会にて決定されました。

「海外助成」助成先一覧

国	団体名	助成金の使途	助成金額
インドネシア	Yayasan Dompot Dhuafa Republika	聴覚障害児童が成長できるよう聴覚補助装置などを支援	USD 6,400 (約94万円)

国	団体名	助成金の使途	助成金額
マレーシア	Women's Aid Organisation (WAO)	WAO 暴力被害者シェルタープログラム(2か所の避難所の1年間の食糧であるミルク、ツナ缶、バターなどと生活必需品を支援)	MYR 22,500 (約70万円)
フィリピン	ANAWIM LAY MISSIONS FOUNDATION, INC.	ヘルスケアとウェルネスプログラム(貧困な高齢者の医療費、食費、植生用の野菜と果物の苗木を支援)	PHP 375,000 (約100万円)
シンガポール	Food from the Heart	学校と連携し貧困な生徒やその家族に学校福袋(チャリティー・フードバック)を支援	SGD 6,400 (約70万円)
ベトナム	Hope School	Covid19によって両親を亡くした子供たちに音楽を通じた心の教育の充実プロジェクトとして音楽鑑賞会費用を支援	USD 4,800 (約70万円)

< 4 > 議会会合・国際交流費等助成、地域災害等緊急対策助成(予算:合算で2,000,000円)

(1) 議会会合・国際交流費等助成

2023年9月19日開催の選考委員会にて選定し、2023年9月28日の理事会にて、以下の1団体に100万円の助成を決定しました。

助成先団体名： 日本障害フォーラム (JDF) 代表者：阿部 一彦

助成の事業名称：障害者権利条約の総括所見を踏まえた同条約の実施促進とインクルーシブな社会の実現のための事業

助成金額：100万円

詳細は以下のとおりです。

「日本障害フォーラム (JDF)」

日本障害フォーラム (JDF) は、障害者権利条約の推進に設立当初の2004年より、市民社会組織との意見集約を図りながら誰もが住みやすい社会の実現に向け取り組んでいます。国連における条約の採択(2006年)、国内制度改革を経ての条約批准(2014年)、国連における初審査(2022年)と継続した活動を行い、2022年9月に障害当事者の声の多くが反映された日本に対する総括所見(審査の最終見解・勧告)の受領という成果を得ることができたとしています。条約履行に向けて日本が定期報告を行う2028年までに国・地域の政策、各種計画の策定における障害者の参加、および条約に対応する法制度のバージョンアップの実現、啓発の進展を目指すとしています。

これらの活動を支援するため、キリン福祉財団、ヤマト福祉財団と協調し、当財団として100万円を助成しました。

(2) 地域災害等緊急対策助成

2023年度は、能登半島地震による被害への支援として、きょうされんへ100万円

の助成をしました。きょうされんへは2016年熊本地震の際にも緊急対策助成として70万円の助成を行っています。

<5> 在宅で高齢者を介護する家族の交流および研修資金助成（予算：3,900,000円）

2023年度は、公益社団法人認知症の人と家族の会の18支部555名（認知症高齢者、医師・福祉関係者等を含む）に合計390万円の助成を実施することを2023年3月15日の選考委員会にて選定し、2023年3月16日の理事会にて決定しました。

<6> 介護福祉士養成のための奨学金の給付（予算：7,440,000円）

2023年度は、2年制専修学校および福祉系高等学校を対象とし、4月から5月にかけて募集しました。専修学校については、指定校25校に対し学生の推薦を依頼するとともに、財団ホームページに募集要項を掲示することで指定校以外からの応募も可能となりました。また、福祉系高等学校については、全国福祉高等学校長会を通じて募集しました。その結果、専修学校生については指定校から12名、指定校以外から13名の推薦を、高校生については3名の推薦を受け付けました。

2023年6月9日開催の選考委員会にて選考を行い、専修学校1年生10名^(注1)と高校2年生3名を選定し、2023年7月4日の理事会にて決定しました。

昨年度採用の専修学校2年生7名、高校3年生5名を含め25名に奨学金総額804万円（専修学校生：1カ月3万円、高校生：1カ月2万円）を支給しました。

2024年2月末現在在籍の奨学生は下表のとおりです。（2023年度専修学校1年生1名退学のため在籍24名）

奨学生一覧（専修学校生）^(注2)

学年	都道府県	専修学校
1年生	北海道	北海道介護福祉学校
	宮城県	仙台医療福祉専門学校
	栃木県	栃木介護福祉士専門学校
	千葉県	松山学園松山福祉専門学校
	東京都	千住介護福祉専門学校
	山梨県	帝京福祉専門学校
	愛知県	田原福祉グローバル専門学校
	岡山県	旭川荘厚生専門学院
2年生	高知県	高知福祉専門学校
	北海道	北海道介護福祉学校
	宮城県	仙台医療福祉専門学校
	栃木県	栃木介護福祉士専門学校
	新潟県	長岡崇徳福祉専門学校
	長野県	長野社会ふくし専門学校
	愛知県	田原福祉グローバル専門学校
岡山県	旭川荘厚生専門学院	

奨学生一覧（高校生）

学年	都道府県	高等学校
2年生	京都府	京都府立京都八幡高等学校
	岡山県	岡山県美作高等学校
	香川県	香川県立高松南高等学校
3年生	秋田県	秋田県立六郷高等学校
	宮城県	宮城県登米総合産業高等学校
	群馬県	群馬県立吾妻中央高等学校
	大阪府	大阪府立淀商業高等学校
	長崎県	長崎県立長崎玉成高等学校

(注1)(注2)専門学校生の1名が選考後に中途退学となったため合計9名となった。

2. 福祉諸科学事業

< 1 > 研究助成

(1) 一般（予算：1,000,000円）

2023年度は、「研究助成」はありません。

(2) ジェロントロジー研究助成（予算：4,000,000円）

本助成は隔年に募集しており、2023年度の募集はなく、2022年度に選考された16案件に対し、後期の助成金398.5万円を支給しました。

< 2 > 研究会

(1) 保険業法に関する研究会

主査：山下 友信氏（同志社大学教授）

損害保険ジャパン株式会社法務・コンプライアンス部およびSOMPOホールディングス株式会社法務部と連携し、「保険業法」に関わるテーマごとに不定期に開催していますが、2023年度の開催はありませんでした。

(2) ジェロントロジー研究会

主査：秋山 弘子氏（東京大学名誉教授、東京大学未来ビジョン研究センター客員教授）

SOMPOインスティテュート・プラス株式会社と連携し、SOMPOホールディングス株式会社シニアマーケット事業部にオブザーブ参加いただき、高齢者や高齢社会をめぐる諸問題を明確にし、その解決に向けての研究を通じて、豊かな長寿社会の発展に貢献することを目的としています。

2023年度は、SOMPO ケア株式会社 Future Care Lab in Japan を2024年3月6日に訪問し、最新の取組み状況についてヒアリング調査を行いました。

(3) 健康保険・介護保険システム研究会

主査：田中 滋氏（慶應義塾大学名誉教授、公立大学法人埼玉県立大学理事長）

約5年間にわたり「先進諸国の健康保険・介護保険システム」について研究してまいりました。2023年度は「SOMPO 福祉財団 叢書 No.96 健康保険・介護保険システム研究会報告書」を発刊いたしました。

3. 社会福祉学術文献表彰事業

<1> 講演会・シンポジウムの開催

2022年度「第24回 SOMPO 福祉財団賞」受賞記念講演会・シンポジウムを2023年7月22日（土）に開催しました。概要は以下のとおりです。

第1部：受賞記念講演会

- ・受賞著書：『包括的な支援体制のガバナンスー実践と政策をつなぐ市町村福祉行政の展開』（株式会社有斐閣 2021年9月発行）
- ・受賞者：永田 祐氏（同志社大学社会学部社会福祉学科 教授）

第2部：シンポジウム

テーマ：『生活困難者への支援と包括性ー研究と実務の視点から』

<2> 叢書

上記の講演会とシンポジウムの内容を財団叢書No. 97「第24回 SOMPO 福祉財団賞受賞記念講演録」として3月公表しました。（ホームページに掲載）

<3> 2023年度「第25回 SOMPO 福祉財団賞」の実施

2023年度のSOMPO福祉財団賞には、指定推薦者から26編が推薦されました。審査委員会は2023年9月6日、10月10日、12月12日の3回にわたり開催されました。

審査委員会において厳正な審査の結果、以下記載の著書1編が授賞に相応しい候補文献として選定され、2024年1月19日の理事会にて決定されました。

- ・受賞著書：『原子力災害からの複線型復興ー被災者の生活支援への道』（株式会社明石書店 2023年3月発行）
- ・受賞者：^{たんば ふみのり}丹波 史紀 氏（立命館大学産業社会学部教授）
- ・表彰内容：賞状、記念品、研究・出版助成金 100万円

<4> 2023年度「SOMPO福祉財団奨励賞」の実施

SOMPO福祉財団賞の審査過程で、財団賞には及ばないものの優れた著作（佳作）であると評価された特に若手の著者を対象に、SOMPO福祉財団奨励賞を贈呈します。

2023年12月12日開催の審査委員会において、以下記載の著書1編が授賞に相応しい候補文献として選定され、2024年1月19日の理事会にて決定されました。

- ・受賞著書：『近代日本の仏教と福祉－公共性と社会倫理の視点から』

(株式会社法蔵館 2023年1月発行)

- ・受賞者：井川 裕 寛 氏(上智大学大学院実践宗教学研究科特別研究員)

- ・表彰内容：賞状 記念品 研究・出版助成金 50万円

資金運用状況

財団の基本財産については、資金運用規程に則り、投資有価証券の継続保有および銀行預金で運用しました。なお、財団が保有している債券は基本財産で、全て満期保有を目的としています。

マイナス金利導入(2016年2月)以降、満期を迎えた債券の償還金の一部は、決済用普通預金(無利息型)にて保有しています。資金運用規程に従い、基本的には安全性・確実性を考慮した債券、銀行預金(定期預金、普通預金)で運用します。

償還満期債券等
みずほFG第6回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約・劣後特約付) ・購入金額：100,000,000円 ・利率：1.13% ・償還日：2023年12月15日(ノンコール5年5ヶ月)
利付国債(10年)第333回(額面50百万円) ・購入金額：50,000,000円 ・利率：0.6% ・償還日：2024年3月20日
利付国債(10年)第333回(額面105百万円) ・購入金額：105,000,000円 ・利率：0.6% ・償還日：2024年3月20日
利付国債(10年)第333回(額面50百万円) ・購入金額：50,000,000円 ・利率：0.6% ・償還日：2024年3月20日
利付国債(10年)第333回(額面50百万円) ・購入金額：50,000,000円 ・利率：0.6% ・償還日：2024年3月20日

また、運用財産(基本財産以外の財産)は、安全性と流動性を考慮した銀行預金(定期預金、普通預金)で運用しました。

5. その他の特記事項

内閣府への届出等

- | | |
|------------|------------------|
| 2023年6月28日 | 事業報告等の提出 |
| 2023年7月10日 | 変更の届出（評議員・理事の変更） |
| 2024年3月22日 | 事業計画等の提出 |

庶務の概要

1. 役員等に関する事項

役員等の氏名は次のとおり。(常勤者に<常勤>表示)

(五十音順、2024年3月31日現在)

職名	氏名	摘要
理事長 専務理事 理事	西澤 敬二	損害保険ジャパン株式会社取締役会長
	齋藤 仁	<常勤>公益財団法人SOMPO福祉財団
	秋山 弘子	東京大学名誉教授、東京大学未来ビジョン研究センター客員教授
	大橋 謙策	公益財団法人テクノエイド協会理事長
	小林 光俊	学校法人敬心学園理事長
	冷水 豊	元上智大学教授
	竹内 孝仁	日本自立支援介護・パワーリハ学会顧問、ケア科学研究所主席研究員
	田中 滋	公立大学法人埼玉県立大学理事長
	長嶋 紀一	日本大学名誉教授
	森嶋 昭夫	名古屋大学名誉教授、弁護士
監事	内田 満雄	公認会計士
	新里 智弘	公認会計士
評議員	京極 高宣	社会福祉法人浴風会理事長、国立社会保障・人口問題研究所名誉所長
	柴田 博	桜美林大学名誉教授
	清水 重夫	元株式会社資生堂代表取締役執行役員副社長
	白澤 政和	国際医療福祉大学大学院教授
	杉崎 重光	元ゴールドマン・サックス証券株式会社副会長
	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団済生会理事長
	直井 道子	東京学芸大学名誉教授
	中野 武夫	元みずほ信託銀行株式会社代表取締役会長
	西浦 英次	元社団法人日本損害保険協会専務理事
	平野 友輔	SOMPOホールディングス株式会社サステナブル経営推進部長
	弘中 徹	弁護士法人弘中総合法律事務所代表社員弁護士
	藤川 久昭	クラウンズ法律事務所代表弁護士
	藤中 麻里子	損害保険ジャパン株式会社執行役員
	宮武 剛	学校法人日本リハビリテーション学舎理事長
	山下 友信	東京大学名誉教授
	涌井 洋治	公益財団法人アフィニス文化財団理事長

職名	氏名	摘要
選考委員 (社会福祉)	和田 敏明 安藤 雄太 大塚 晃 君島 淳二 内藤 佳津雄 丸木 崇秀	ルーテル学院大学名誉教授 東京ボランティア・市民活動センターアドバイザー 上智大学総合人間学部社会福祉学科特任教授 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会常務理事兼事務局長 戸山サンライズ館長 日本大学教授 損害保険ジャパン株式会社経営企画部特命部長
選考委員 (奨学金)	竹内 孝仁 上野谷 加代子 小平 めぐみ 冷水 豊 丸木 崇秀	一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会顧問、ケア科学研究所 主席研究員 同志社大学名誉教授、日本医療大学教授 国際医療福祉大学大学院准教授 元上智大学教授 損害保険ジャパン株式会社経営企画部特命部長
選考委員 (福祉諸科学)	京極 高宣 司波 卓 高橋 紘士 広井 良典 山下 友信	社会福祉法人浴風会理事長、国立社会保障・人口問題研究所名誉所長 SOMPOインスティテュートプラス株式会社取締役社長 東京通信大学名誉教授 京都大学教授 東京大学名誉教授
選考委員 (ジェロントロジー 研究)	長嶋 紀一 今井 幸充 上野谷 加代子 佐藤 宏子 冷水 豊 竹内 孝仁 内藤 佳津雄	日本大学名誉教授 医療法人社団翠会和光病院院長 同志社大学名誉教授、日本医療大学教授 和洋女子大学総合研究機構特別研究員、兵庫県立大学名誉教授 元上智大学教授 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会顧問、ケア科学研究所 主席研究員 日本大学教授
審査委員 (社会福祉学術 文献表彰)	秋元 美世 今井 小の実 大島 巖 後藤 玲子 平岡 公一 山縣 文治	東洋大学大学院社会福祉学研究科特任教授 関西学院大学人間福祉学部教授 東北福祉大学副学長・教授 帝京大学教授、一橋大学名誉教授 東京通信大学人間福祉学部教授 関西大学人間健康学部教授

職名	氏名	摘要
顧問	岩崎 晋也	法政大学常務理事・副学長
	岩田 正美	日本女子大学名誉教授
	右田 紀久恵	大阪府立大学名誉教授
	岡林 秀樹	元公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団専務理事
	黒田 研二	西九州大学健康福祉学部教授・同学部長、大阪府立大学名誉教授、 関西大学名誉教授
	小林 良二	東京都立大学名誉教授
	芝野 松次郎	関西学院大学名誉教授
	菅沼 隆	立教大学経済学部教授
	高野 茂	損保ジャパン社友会事務局長
	高宮 洋一	公益財団法人協会理事、統計情報研究開発センター理事、 城西国際大学前教授
	田中 皓	公益財団法人助成財団センター参与
	花崎 和彦	公益財団法人助成財団センター専務理事
	福山 和女	ルーテル学院大学名誉教授、社会福祉学博士
	古川 孝順	長野大学学長特別補佐・教授
	松林 宏	元公益財団法人SOMP O福祉財団専務理事
	水巻 中正	国際医療福祉大学大学院名誉教授
	和気 純子	東京都立大学人文科学科教授

2. 職員等に関する事項

職員は次のとおり。

(2024年3月31日現在)

区分	氏名	就業開始年月日	備考
事務局長	林 圭一	2023年4月1日	損害保険ジャパン(株)から出向
副長	渡部 由里	2008年9月1日	
副長	尾根 桂子	2013年8月1日	
主査	澤 雅弘	2018年4月1日	

3. 役員会等に関する事項

< 1 > 理事会の開催

開催日	会議事項	結果
2023年6月6日 2023年度 第1回通常理事会 (オンライン開催)	第1号議案 2022年度の事業報告および決算承認の件 第2号議案 定時評議員会開催の件 報告事項1 理事長・専務理事の職務執行状況の件	全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員了承
2023年6月22日 2023年度 第1回臨時理事会	第1号議案 専務理事選定 第2号議案 役員報酬の件 第3号議案 顧問選任の件	全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決
2023年7月4日 2023年度 第2回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 2023年度「介護福祉士養成のための奨学金の給付」選考の件	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2023年9月28日 2023年度 第3回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 NPO基盤強化資金助成(住民参加型福祉活動資金助成)の選考の件 第2号議案 自動車購入費助成の選考の件 第3号議案 議会会合・国際交流費等助成の選考の件	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2023年12月13日 2023年度 第4回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 NPO基盤強化資金助成(組織および事業活動の強化資金助成)の選考の件 第2号議案 NPO基盤強化資金助成(認定NPO法人取得資金助成)の選考の件 第3号議案 海外助成の選考の件	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた

開催日	会議事項	結果
2024年1月19日 2023年度 第5回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 「SOMPO福祉財団賞」および「SOMPO福祉財団奨励賞」の選考の件	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた
2024年3月14日 2023年度 第2回通常理事会	第1号議案 2024年度の事業計画および収支予算等の件 第2号議案 役員等賠償責任保険契約の締結の件 報告事項1 2023年度の事業経過報告の件 報告事項2 理事長・専務理事の職務執行状況の件	全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員了承 全員了承
2024年3月26日 2023年度 第6回臨時理事会 (定款第43条に定める理事会の決議の省略の方法による)	第1号議案 地域緊急対策助成選考の件 第2号議案 在宅で高齢者を介護する家族の交流および研修資金助成の選考の件	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた

< 2 > 評議員会の開催

開催日	会議事項	結果
2023年6月22日 2023年度 定時評議員会	第1号議案 2022年度の事業報告および決算承認の件 第2号議案 評議員の退任・選任の件 第3号議案 理事の退任・選任の件 報告事項1 2023年度の事業計画および収支予算等の件 報告事項2 選考委員、審査委員、顧問選任の件 報告事項3 事務局長の選任の件	全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員了承 全員了承 全員了承

< 3 > 選考委員会・審査委員会の開催

開催日	委員会の内容
2023年6月9日 奨学金助成事業選考委員会	2023年度奨学生の選考（13名）
2023年9月6日 第1回社会福祉学術文献表彰事業 審査委員会	第25回「SOMPO福祉財団賞」の選考（第1次審査）
2023年9月19日 第1回社会福祉事業選考委員会	1. NPO基盤強化資金助成の選考 < 1 > 住民参加型福祉活動資金助成（8件） 2. 自動車購入費助成の選考（10件） 3. 会議会合・国際交流費等助成の選考（1件）
2023年10月10日 第2回社会福祉学術文献表彰事業 審査委員会	第25回「SOMPO福祉財団賞」の選考（第2次審査）
2023年12月4日 第2回社会福祉事業選考委員会	1. NPO基盤強化資金助成の選考 < 1 > 組織および事業活動の強化資金助成（14件） < 2 > 認定NPO法人取得資金助成（10件） 2. 海外助成の選考（5件）
2023年12月12日 第3回社会福祉学術文献表彰事業 審査委員会	第25回「SOMPO福祉財団賞」および「SOMPO福祉財団奨励賞」の選考（第3次審査） （推薦文献 財団賞1件、奨励賞1件）
2024年3月21日 第3回社会福祉事業選考委員会	< 1 > 地域災害緊急対策助成の選考の件（1件） < 2 > 在宅で高齢者を介護する家族の交流および研修資金助成の選考（1件）

4. 許可、認可および承認に関する事項

該当はありません。

5. 寄付金に関する事項

SOMPOホールディングス株式会社から88,000,000円の寄付を受けました。

このほか法人23件、3,390,000円、損保ジャパン役職員団体（SOMPOちきゅう倶楽部）500,000円、個人1,995,000円の寄付を受けた結果、本年度の寄付金の合計は、93,885,000円となりました。

寄付者名	寄付金額 (千円)
SOMPOホールディングス株式会社 ^(注)	88,000
SOMPOアセットマネジメント株式会社	100
SOMPO企業保険金サポート株式会社	120
SOMPOクレジット株式会社	100
SOMPOケア株式会社	200
SOMPOコミュニケーションズ株式会社	100
SOMPOシステムイノベーションズ株式会社	100
SOMPOシステムズ株式会社	100
SOMPOビジネスサービス株式会社	70
SOMPOひまわり生命保険株式会社	1,000
SOMPOインスティテュート・プラス株式会社	100
SOMPOリスクマネジメント株式会社	100
SOMPOワランティ株式会社	200
株式会社プライムアシスタンス	100
港北メディアサービス株式会社	100
損保ジャパンDC証券株式会社	100
損保ジャパンキャリアビューロー株式会社	100
損保ジャパンパートナーズ株式会社	100
株式会社フレッシュハウス	50
ユニバース開発株式会社	100
My s u r a n c e 株式会社	50
法人匿名3社	400
SOMPOちきゅう倶楽部	500
個人	1,995
寄付金合計	93,885

(注) 損保ジャパンをはじめとするSOMPOグループ各社を含む。

6. 行政庁指示に関する事項

該当はありません。

7. その他の重要事項

該当はありません。

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。